

復興から創生へ

当金庫は、東日本大震災発生以降、復興・再生に取り組む多くの人々に最大限の支援を行うとともに、地域やお客さまの更なる成長・発展に向けた取組みを行うことを最優先してまいりました。

震災発生から10年余りが経過しましたが、地域に根ざした金融機関として引き続き、復興・再生、そして「地方創生」に向けたお手伝いをさせていただければと、当金庫は日々努力してまいります。

地域の皆さまとの絆を強く、より深く

緑あふれる故郷、こどもたちの元気な声、笑顔、笑顔。そんなエネルギーあふれる宮城にしていけるために皆さまとともに歩み続け、サポートする杜の都信用金庫です。

地方創生に向けた当金庫の取組み

当金庫は、地域の稼ぐ力や雇用の創出につながる「まち・ひと・しごとの創生」に資する取組みをより一層推進していくことが必要であるとの認識のもと、中小企業の経営改善・事業再生支援など地域産業の活性化や顧客会員組織の活性化、観光振興の推進等に取り組んでおります。

当金庫は、多賀城市(平成30年1月29日締結)、塩竈商工会議所(平成28年3月31日締結)、多賀城・七ヶ浜商工会(平成28年3月30日締結)と包括連携協定を締結しております。

『新型コロナウイルス対策支援ファンド「しんきんの礎」投資決定』

令和2年12月1日(火)、新型コロナウイルス対策支援ファンド「しんきんの礎」の記者発表が行われ、当金庫の推薦により、有限会社フィダール様への投資が決定しました。

「しんきんの礎」はコロナ禍における信用金庫の中小企業支援を金融面からサポートするために設立されました。新型コロナウイルスの影響を受けた信用金庫取引先に対し、資本性資金の提供を通じた財務基盤の強化を支援しており、信金キャピタル株式会社が運営しております。



【特徴的な取組み】

「お客さまの課題解決に向けて」杜の都信用金庫では、お客さまの課題解決を支援します。

- 近年、地域金融機関には、預金・貸出金といった単なる資金仲介業務だけでなく、お客さまの課題解決に向けたいわゆる「本業支援」の役割が強く求められております。

当金庫では、税理士法人、不動産業者やハウスメーカー、人材採用支援会社など、より専門的な知識を有する様々な業種の外部企業と業務提携契約を締結。提携企業先と連携することで、様々なお悩みに対応できる体制を整えています。

また、東北各地で生み出される様々な業界の商品・サービス・技術・情報が一堂に会するビジネスフェア「ビジネスマッチ東北」に毎回参加しております。令和3年3月10日に夢メッセみやぎにて開催された「第15回ビジネスマッチ東北2021春」では、当金庫お取引先15社が出展。様々な事業者との交流をサポートし、販売チャネルの拡大を支援します。

- 「定期預金『ふるさと宅配便』～もっちゃんからの贈り物～」のプレゼント商品として、地元ワイナリー醸造のワインを選定し、キャンペーンを展開しました。



もりしんプラットフォーム

